

研究報告

2012年3月6日から11日にかけて、私は日本に赴き、兵庫教育大学の長澤先生を初めとする教授たちと日中両国の教師教育制度、教師チーム管理、教師生涯教育、教師職業倫理、及び教育管理実践などさまざまな問題点について学術交流をし、それから現場で兵庫教育大学附属中学校、小学校及び幼稚園を考察することを通し交流を深めていた。日本教師教育の典型として、兵庫教育大学は中小学校の教師に対する資質の要求を非常に重んじ、教師実際の教学知識と能力の育成に力をいれ、教師の生涯教育に注目を払った。兵庫教育大学の先生たちの研究活動は主に大学の創学主旨及び育成目標に基づき、教学と人材育成活動を有機的に結び合わせ、実証性と実用性に富み、焦点を絞り、操作しやすく、実効的な効果をもたらせることから浙江師範大学の学ぶに値することが数多くある。これから両校ますますの交流を望み、お互いに協力しあい、交流を各方面へ広めていくことを心から希望している。

正式な学術交流以外、長澤先生との付き合いの間、いろいろと教えていただき、日本における大学及び中小学校の教育現状とりわけ兵庫教育大学の教師教育の現状についてもより理解できた。それと同時に、日本の中小学校教育とりわけ中学校の教育事情及び教師養成にある問題点を知り、中国にも同じような問題を抱えるため、兵庫教育大学のそういう問題点への対策から中国浙江師範大学それから他の教師教育を取り扱う大学が学べることは数多くあると強く感じられた。そのほか、日本の関西地区の風俗民情と日本学者の繊細厳密の品格に感銘を受けた。今後とも機会があるなら定期的に兵庫教育大学へ行き、学術交流をし、そちらの教師教育研究の最新動向を調べ、経験を学び、こちらに実用させよう努力したい。考察中、兵庫教育大学の研究は微小性、操作性にあふれるとともにより高く広い視野を持ちながら教師教育研究をすところに空間があると感じられた。これから双方の長短補い合うことも期待している。